

白川町総合計画審議会 会議録（第4回）

1. 開催日時 令和2年6月30日（火） 午前9時25分 開会

2. 開催場所 白川町役場 分館大会議室

3. 出席委員

会 長	竹内 治彦君	副 会 長	細江 茂樹君
委 員	藤井 宏之君	委 員	佐伯 好典君
委 員	服部 圭子君	委 員	田口 和義君
委 員	古田 文英君	委 員	山中 剛彦君
委 員	今井 和秀君	委 員	瀬瀬 眞彦君
委 員	小栗 敏弘君	委 員	安江 万美子君
委 員	浅井 長可君	委 員	福田 喜美子君
委 員	細江 照男君	委 員	後藤 茂巳君
委 員	内藤 敬子君	委 員	塩月 祥子君

4. 欠席委員 委 員 加藤 邦之君 委 員 鈴村 雄二君

5. 説明のために出席した者の職氏名

町 長	横家 敏昭君	副 町 長	佐伯 正貴君
教 育 長	鈴村 雅史君	総務課長	安江 章君
企画課長	長尾 弘巳君	町民課長	藤井 勝則君
保健福祉課長	杉山 哉史君	農林課長	三宅 正仁君
教育課長	藤井 寿弘君	議会事務局長	大岩 裕樹君
会計管理者	加藤 博史君	林業専門監	梶浦 善孝君
住宅対策専門監	今井 健吾君		

6. 職務のために出席した者の職氏名

企画係長	鈴村 幸祐	企画係主査	山下 直紀
企画係主査	山口 裕代		

7. 会議の経過

企 画 課 長 開会する旨を宣告し、あいさつした。（午前9時25分）

会 長 あいさつした。

町 長 あいさつした。

【協議事項】

(1) 総合計画基本構想(案)について

(2) 人口の将来展望(人口目標)について

会 長 (1) 総合計画基本構想(案)について及び(2) 人口の将来展望(人口目標)について事務局に説明を求めた。

山 下 主 査 資料により説明した。

- 山口主査 資料により説明した。
- 会長 質疑を許した。
- 後藤委員 人口目標ですが2025年から減り方が急に緩やかになります、何か理由があるのでしょうか。
- 鈴木係長 2015年から2020年までは5年間のスパンですが、2025年からは1年スパンにしてありますので見た感じが緩やかになっています。
表現の仕方を1年ごとに変えましたので、こういったグラフになっております。
- 後藤委員 基本目標が1から5までということですが、前回会長からいわゆる財政的な面が伴うということがあったと思いますが、極端な話をするとう算の配分という意味合いもあるのでしょうか。
- 鈴木係長 予算の配分の中のことではなく、あくまでも総合計画における5つの柱ということで考えた案になります。
- 田口委員 4. 安心・安全と書いてあり要所に安心・安全と書いてありますが、私達農業者は、安全なものを作るから安心であるという解釈で言葉を使っておりますが、他の生産業者でもそうだと思いますが、表現の仕方が逆ではないでしょうか。
- 山下主査 安心と安全を並列で考えていましたので、ご指摘いただきましたとおり単語の並びも考えながら目標等を作っていきたいと思います。
- 藤井委員 体系図のところでは5番目に歴史・文化・教育というところがあり、基本政策の1つ目に、未来を担う子供たちの育成ということで出ております。やはり子供たちが、ここで育ってまた白川町へ戻り、まちで活躍してほしいという希望があります。
そういった中でやはり学校教育といったことが1つのポイントになると思っておりますし、これから学校統合ということも出てきますけども、やはり統合しても少人数教育にあまり変わらないと思っておりますので、その少人数教育を生かした教育、子供たちの育成を進めることで、それを見すえて人口増に繋がる、白川町に住んでみたいと思う方々もいると思うので、教育というのはすごく大事なものだと思っております。
- 山下主査 前回第5次総合計画には移住・定住という項目は入っていませんでしたので今回入れさせていただきました。
教育分野でのキーワードですが、ふるさとに子供たちがこういった形で帰ってきてもらえるか、またそのまま作らせていただけるのかというところを教育分野にも何か盛り込めないかなということも考えたいと思っております。ふるさと教育というキーワードもありましたので、そのあたりも上手く表

現できないかなと思っています。

佐伯委員 重点方針の中で、人の創生、しらかわへ行こう・しらかわへ帰ろう、とあり、人口を増やす、移住定住を増やす、またUターン、Iターンを増やすということだと思いますが、当然Uターンを増やすためには郷土教育、地元でどういう企業があるかという情報が必要です。やはりIターンUターンしてくれる人たちのニーズに応えた様々な対策が必要だと思います。

例えば交流・協働の基本目標には3つの基本施策がありますが、役場組織の課ごとの割り振りでこうなっているのかもしれないですが、ここに子育てや環境に関してのことも入れて、白川に行こう帰ろうと思わせるためにはこういった内容に取り組むというようにしておかないと、重点方針がちょっとぼやけてしまう気がするので、基本施策は、重点方針に対して本当に必要なものを入れていく、目的を達成するには、どの課であっても取り組んでいくようにした方がぶれないのではないかなと思います。

鈴木係長 総合計画の新たな体系を作るとき、総合戦略の第2期の体系を併せて考えています。意見をいただいたように、課ごとの仕事をそれぞれ分類するという部分だけではなく、総合計画を達成するために必要な政策と言う理解の中で、横断的な事業をどう位置付けるかというところは大事な視点だと思いますので、基本政策は22本になっていますがこの設定や基本目標と重点方針の位置づけも考慮しながら考えていく必要があると思います。

塩月委員 黒川に住んでいます。小中学校の教育は少人数の利点を最大限に生かした教育をしてくださっていて、保護者としても本当に満足をしています。課題として小中学校の統合ということもあり、統合しなければいけない理由というのもよくわかりますが、私自身移住者で白川町に来て、もし小中学校が黒川になかったら、黒川には移住してきませんでした。今黒川の移住者の子供たちが保育園から中学校までだいたい14人います。その子供たちや親さんたちもすごく黒川の教育に満足していて、これが黒川の売りになっていると思っています。

そういう小さな学校というか、小規模の学校の良さを生かせる教育をこの先も続けていただきたいと思います。統合一筋だけではなくいろんな方面の意見を聞いていただいて、統合すべきところはしていく必要があるかもしれないですが、黒川でも地域がもっと学校に協力できないかということで、この4月から黒川地育リーダーズという名前を付けて地域と学校の共同活動を始めました。来年度に向けて全町的に活動が広がるという話も

聞いていますので、地域と学校をもっと繋げる、地域の力を最大限に生かした教育というのを目指していただければと思います。

服部委員 教育では、今回コロナでオンライン授業などが必要性を帯びてきて、これから8年、2020年からの教育改革もありましたし、その辺のニュアンスが総合計画の中にあっただ方がいいのかなと思います。

次に、基本構想のまちの将来像ですが、基本的な生活の土台っていうのは山もあり水もあり、それを生かしていきたいというような活力とか、みんなの思いが活きるという言葉にはとても元気が出ると感じました。

ただ何か繋がって広がるだけでなく、変えていかなければいけない面、やり続けていくという2つの面も考えていく必要があると思います。気象変動、温暖化、食料問題、医療体制などコロナも含めていろいろなことを見直していかなければならない時代にきています。白川町にはこれらの課題を乗り越えていける資源や人材があると思いますので将来像に表現できたらと思います。

具体的な部分はこの時点では入っていないかもしれませんが今後どのようにその辺を取り入れていったらいいのかを伺いたいと思います。

会長 例えば、農業生産力はもっと高くなる、というのは1つの方針でしょうし、ICTを強化することによって地域的な不利を補えるというのも1つの考え方だと思います。しかし、それぞれ大変なことがあって、言うがやすしというところだと思います。

コロナの状況の中でどういう変化があったかということと世界中でリモートワーク等が発展しました。日本では東京などの都市部で、かなりリモートワークに取り組みされたわけですが、岐阜県がどうかというと、みんな車で通勤していて、それほど必要も感じず職場も普段通りにやっていたところが多いようです。こういった観点からIOTに関して岐阜県が遅れてしまうという心配があって、県の経済再生の会議などで話をしているところです。地方だからIOTでなんとかしようというのは簡単でないかもしれないけれど、実施するには根拠を持った予算立てをして事業計画を立てる必要があります。それが成功するかというと、なかなか大変なことかもしれません。前回、財政的なお話させていただいたのはそういうところで何か方向を決めたときに、ある程度、差別化できるまでにやりきだけの根拠がありますかというところで、先ほどの教育の話も少人数教育をということであれば、それなりに財政的な根拠が必要になってくると思います。「活力を形に」という表現の中で、それをどう、どこの部分で、地域リソースを磨いていくものとして選び取っていくのかというところがフレ

ーズレベルを超えて、しっかりとした根拠をもとに考えていかないといけないのかなと思いますので、皆さんの中で、この会議、あるいは広く意見を募りながら、取り入れていけばよいと思います。

次に体系についてお話させていただきたいと思いますが、今日説明を聞きながら思ったのは、一番左側の概念的な部分で活動を行う形で、次のところに基本目標が5つあります。そこまでが基本構想で右に行くと基本計画等で重点方針とあって、ここが4つになります。また右へ行くと5つなっていて、5-4-5となるのがどうかというところがあります。施策的な具体性と抽象的な観念という意味でいうと、一番左は抽象的で、基本目標に行くとかかなり具体的です。重点方針へ行くとファジーになるので、基本目標と重点方針は、入れ替えた方がいいのではないかと思います。

そうすると、課ごとに分けているような話になってしまうので、ここを一対一対応させないで、重点方針を左に持っていくと、その関連のところから矢印が数カ所に延びてもいいと思うので、そういう形で整理すると説得力があると思いました。

後藤委員 僕は順番にこだわってしまうのですが基本目標1以外の2、3、4、5を経て、1の人と人との繋がりを広げ、活かすというところに来ると思います。より具体的にいくと、2、3、4、5をやってやっと地域間交流ですとか移住定住があるのではないかと思います。

そうすると1が具体的でないというふうに見えるので、検討いただきたいと思います。

副町長 体系図ですが、第6次総合計画と第2期総合戦略の両方が入っています。総合戦略の4つの柱を総合計画の基本構想の中で使うということなのか、少しわかりにくいと思うので、整理して説明をしていただきたい。

鈴村係長 基本的な考え方の部分になりますが、今回は総合計画の策定とあわせて総合戦略を同時に作っていきます。計画を別にした方がいいのか一緒にした方がいいのかという議論から始めましたが、総合計画自体は町の仕事全般に関わるということと、総合戦略に関しては重点方針という形で位置づけをする必要があるかということで、考えて参りました。基本的な考え方としましては、総合計画の中に総合戦略を位置づけるということで一体的な計画作りを進めたいという思いの中からこういった体系図にさせていただきました。関係性がわかりにくいところがありますので、そのあたりの関係性を改めて考えたいと思いますが、基本的には総合計画の中に総合戦略を位置づけるという思いであります。

会長 私はいくつかの計画づくりに携わって、どこも総合計画と総合戦略を一

緒にするので、総合戦略に引きずられることも多いです。そうなると福祉の分野などがばっさりと落ちたりして、それでいろいろと意見が出ることもあります。今日の並びですと先ほどから意見があるように、なんとなく落ち着きが悪いです。総合計画と総合戦略を合わせていくといったときに体系の作り方だとか、その順番を少し調整する必要はあると思います。総合計画と総合戦略それぞれの抽象的なところと具体的なところが交互に表されているので、これも少し整理した方がいいと思います。

佐伯委員 基本目標の1つ目の柱がまちの将来像とほとんど一緒ではないかと思います。基本目標を例えば4つにしたりとか、重点方針から施策が見えた方がいいという話をしましたが、重点方針なり基本目標は次回、数を変えたり、それぐらいの柔軟性を持たせられるのでしょうか。

山下主査 基本目標の数については、前回の審議会のときも3つぐらいにした方がいいのではないかというご意見もございましたが、策定主任者の会議を経て5つにさせていただきました。審議会として、もう少しこの数も見直した方がいいのではないかというご意見であれば5つで決めたというわけではございませんので、ご意見をお願いします。

会長 5つでなくてもいいというような議論はあまり生産的ではないと思います。具体的に出していただけるなら、議論の予知はあるのかと思います。

服部委員 重点政策というのが空欄なのは、今後詰めていくというようなことでしょうか。

鈴木係長 一番右の重点政策は重点方針に繋がる部分になりますので今おっしゃられました総合戦略の事業として取り組んでいくべき事柄ということで現時点ではまだ詰めきれておりませんので、具体的な記載のない状態で出させていただきます。

服部委員 これはいつ頃案として出されるのでしょうか。部会をやってとか、その中で作っていくというように捉えていいのでしょうか。

鈴木係長 本日の審議会に続く部分ということで、部会の開催につきましても、今日ご相談をさせていただきたいと思っています。

部会の中でご意見も参考にさせていただきながら、また、策定主任者の会議でも検討したいと思っています。

会長 基本的には部会でと思っていますが、これだけは入れてほしいというのがあれば意見を伺います。

服部委員 温暖化で集中豪雨が多いという事態の中で防災力強化を大事にするべきではないかなと思います。それと健康で、自然の力、免疫力の高い人を育む政策を加えてもらいたいと思います。

会 長 基本目標の2で、産業、雇用、地域内循環とありますが、全体に体系図も何となく印象としてはドメスティックな感じがあります。循環型社会とかができていることもいいわけで、そこをあえて地域内をどこまで強調するのかなというところと、例えば農業にしても交流産業にしてもよそとの関係性というものを前提にしないと成り立たない。一体どこが市場なのか、どこの人に来てもらいたいのかというところで、もう少し広がりイメージしておく必要はあると思います。それから制度政策的な話で言えば定住自立圏にも入っているわけですから、連携をどのように具体的に事業化していくかというのを入れていかないと、白川町単独というところでやりきれるか限られるところもあると思います。

古 田 委 員 道路の整備について、ここには道路と公共交通の整備というように簡単に書いてあります。重点政策に入ってくるかと思いますが、具体的に県道整備を強力に進めるとか、国道は今後トンネル化されて大変ありがたいと思いますが、やはり道路というのは一番動脈でいろんな産業にとっても一番柱ですので強調していただきたいと思います。

(3) 白川町長期財政計画について

会 長 (3) 白川町長期財政計画について事務局に説明を求めた。

鈴 村 係 長 資料により説明した。

会 長 質疑を許した。

後 藤 委 員 考え方としてはちょっとおかしいのかもしれませんが、白川町の人口も減って、収入等も減っていくということですけど、額が大きすぎて、個人的には正直ピンとこない部分もありますので、人口1人当たりの予算や決算を提示していくと、一つの目安になると思います。

今の財政規模でいけば白川町の人口1人当たりこれだけお金がかかります、それもどんどん減っていきますという提示をして、だからお金の使い道も均等ではなくて重点的にする必要があるというような説明があるとより苦しい状況も町民1人1人が共有できると思いました。

(4) 部会活動について

会 長 (4) 部会活動について事務局に説明を求めた。

山 下 主 査 資料により説明した。

塩 月 委 員 基本構想のまちの将来像といったところも、それぞれ意見を出し合うというようなイメージでよろしいでしょうか。

山 下 主 査 将来像なども、もちろん各部会、個人でもいろいろご意見があると思いますので、話し合っていたきたいと考えております。

会 長 次の部会が開催されるまでに、それぞれ今日の審議会の内容を持ち帰っ

ていただいて意見を聴取したりすることもあると思います。

今日の基本構想で意見が出た部分について、ある程度こんなことを考えているというようなことでお示しいただいた方がいいのかなと思います。テーマはそれぞれの部会のスタンスというか、部会の成り立ちがありますし、機能的な部分で、今回の部会は、教育民生だから教育と福祉だけとか、産業建設だから農林と建設の話だけにはならないかもしれません。

ですから、基本目標のところ、あるいは基本施策、施策項目のところ、今回の部会は、関係部分だけにしてくださいということはないということになります。将来的にもう少し固まってきたときに、項目を絞って話し合ってくださいという可能性はあると思います。今回の部会は幅広い部分でご意見をいただきたいと思います。

塩月委員 未来デザイン研究部において、意見の吸い上げをしていただいたと思いますが、今後も未来部さんに委託して、その町民の声を聞いたりとか、独自の報告をしたり、意見を聞く場というのは続いていくのでしょうか。もし続いていくのであればこの部会とも絡んでやると、やりやすいと思いますがいかがでしょうか。

鈴木係長 未来部の活動は昨年から町民意見の聴取ということで動いていただいており、今回WEBアンケートの回答の結果を配付させていただいたところです。本来であれば各地区単位で集まっていたいただいて、意見を聞く場などを持ちたいということでしたが、今回コロナによってオンラインでのアンケートといった形になりました。

審議会の部会で未来部さんがやっていたようなアンケートの結果などは資料としてお渡しできますので判断材料にさせていただいて、検討していただく形で考えております。

あくまでも審議会は審議会という形で棲み分けをするような形で事務局としては考えております。

佐伯委員 審議会委員の方々は各団体で話し合われた内容を共有していくということですが、その各団体で共有するときに、ただ報告でいいのか、もしくはそこでまた各団体の方々と意見交流などで、その意見を部会に持ち帰ってもらうのでしょうか。

本来なら各団体の方々とまたそういった意見交流までやった方がいいと思いますが、そうなった場合やはり各団体、代表1人ですので、その所属団体に報告というのをお手伝いするような、例えば事務局が資料を用意することが必要になってくる可能性があると思いますが、そういった想定はされているのでしょうか。

鈴 村 係 長 部会への事務局の参加は、考えております。
各団体で必要な資料や今までの経緯の説明が必要であれば考えたいと思
います。

会 長 各団体に事務局が行くというのはあまり例がないと思います。今、説明
があったように部会において概要の説明に行くというのはあるかと思いま
す。

【その他】

会 長 その他について説明や意見がないか求めた。

後 藤 委 員 庁舎の移転についてお伺いしたいと思います。極論を言うと働き方改革
等でリモートオフィス化などを考えていると、庁舎もひよっとしたら町
長の部屋と応接室と会議室があれば十分かなというような発想を持ちま
したが、ある程度どういった形で作るというのが基本的な構想となるの
でしょうか。

総 務 課 長 庁舎についてのご質問いただきました。庁舎整備につきましては、時
間をかけて検討して参りましたけれども、この4月の議員協議会の折に、
河岐地内で整備をするというような方向性を提案させていただきまして、
現在協議をさせていただいているところでございます。今お話がありまし
たように、基本的な方向として、将来的に人口も減っていくということ
で大きな規模のものはいらないということで必要最低限の大きさでいい
のではないかというようなこと、さらには町民会館を併用した分散型庁
舎という方針で検討を進めているところです。

町 長 閉会にあたりあいさつした。

副 会 長 閉会にあたりあいさつした。

会 長 閉会を宣した。

(午前11時00分)